

コマツナの多角的な生産安定化技術の開発

【研究概要】

①江東地域のコマツナ生産圃場において、生育異常症状の有無を調査した結果、調査 19 圃場中 18 圃場において株の伸長抑制、葉の黄化、枯死などの生育不良が確認された。生育不良の原因は、1 圃場のみ原因が特定できなかったが、他の 17 圃場は、窒素欠乏 5 圃場、高塩類障害 4 圃場、低 pH による障害：1 圃場、菌類病 2 圃場と推定された。

②秋まき施設コマツナにおける大株栽培時の窒素吸収特性を明らかにした。10a あたり窒素吸収量は地上部重に比例し、草丈の 2 乗に比例することがわかった。草丈 40cm 時点の窒素吸収量は「さくらぎ」と「いなむら」では、いなむらが約 1.5 倍と品種によって大きく異なった。